

2 学習・研究

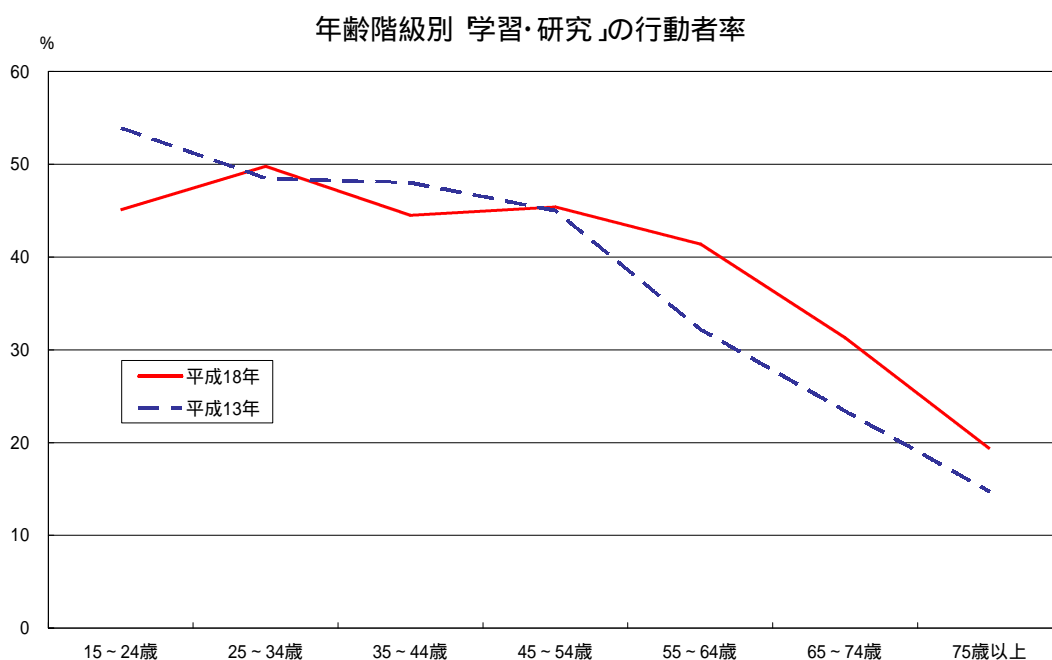
1年間に「学習・研究」を行った人は約52万人、行動者率は約41%

過去1年間に何らかの「学習・研究」を行った人は51万6千人で、行動者率は、40.9%で、全国平均より5.7ポイント上回り、東京都、神奈川県について3番目の高い率となっている。平成13年の行動者率（41.0%）と比較すると ほぼ同じ割合となっている。

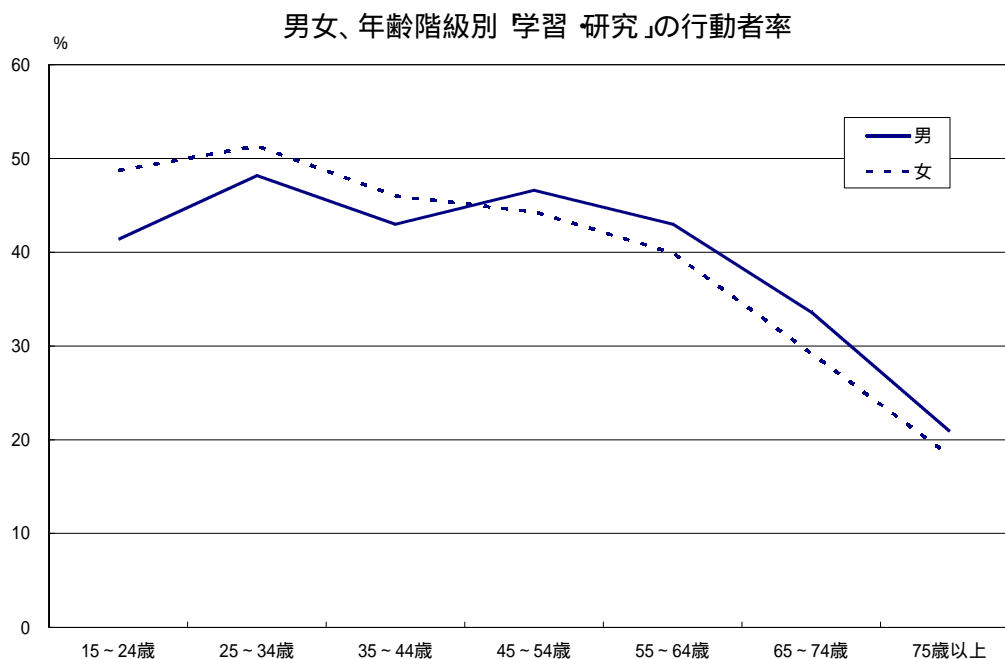
行動者率を男女別にみると、男性は40.5%（行動者数24万2千人）、女性は41.2%（27万4千人）で、女性の方が0.7ポイント上回っている。

15歳から24歳の「学習・研究」の行動者率が低下

「学習・研究」の行動者（15歳以上人口）率を年齢階級別にみると、25～34歳で49.8%と最も高くなっている。平成13年には、15～24歳で最も高かったが、今回は45.1%と9.0ポイント低下した。



また、男女別にみると、15～44歳では女性の方が高くなっているが、それ以外の年齢層では男性の方が高くなっている。



行動者率が最も多いのは「芸術・文化」

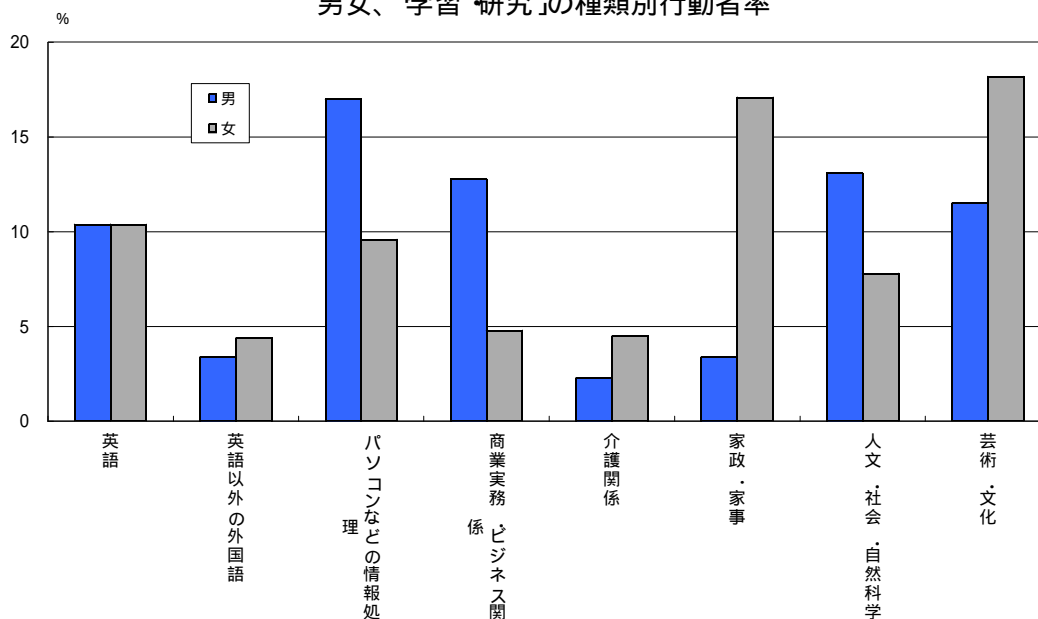
「学習・研究」を行った人をその種類別にみると、「芸術・文化」が19万人（行動者率15.0%）で最も多く、次いで「パソコン等の情報処理」が16万5千人（13.1%）、「家政・家事（料理・裁縫・家庭経営等）」が13万4千人（10.6%）の順である。行動者率はいずれの種類も全国平均より高く、特に「芸術・文化」が3.8ポイント上回っている。

「パソコン等の情報処理」は男性、「芸術・文化」は女性が高い行動率

「学習・研究」を行った人を男女別にみると、男性は、「パソコン等の情報処理」が10万1千人（行動者率17.0%）で最も多く、次いで「人文・社会・自然科学（歴史・経済・数学・生物等）」が7万9千人（13.1%）、「商業実務・ビジネス関係」が7万6千人（12.8%）、「芸術・文化」が6万8千人（11.5%）となっている。

一方、女性は、「芸術・文化」が12万1千人（15.0%）で最も多く、次いで「家政・家事（料理・裁縫・家庭経営等）」が11万4千人（18.2%）、「英語」が6万9千人（10.4%）、「パソコン等の情報処理」が6万4千人（9.6%）となっている。

男女、学習・研究」の種類別行動者率



料理・裁縫・家庭経営など
 歴史・経済・数学・生物など

若年層で行動者率の高い「英語」、青壮年層で高い「パソコン等の情報処理」

「学習・研究」の種類別行動者率を男女・年齢階級別にみると、男性は15～24歳では「英語」が最も高く、次いで「パソコン等の情報処理」、「人文・社会・自然科学」、25～34歳では「パソコン等の情報処理」、「商業実務・ビジネス関係」、「人文・社会・自然科学」、35～44歳では「商業実務・ビジネス関係」、「パソコン等の情報処理」、「英語」、45～54歳では「商業実務・ビジネス関係」、「パソコン等の情報処理」、「人文・社会・自然科学」、55～64歳では「パソコン等の情報処理」、「芸術・文化」、「人文・社会・自然科学」、65歳以上では「芸術・文化」、「人文・社会・自然科学」、「パソコン等の情報処理」の順となっている。

一方、女性は15～24歳では「芸術・文化」が最も高く、次いで「英語」、「家政・家事」、25～44歳では「家政・家事」、「芸術・文化」、「パソコン等の情報処理」、45～54歳では「芸術・文化」、「家政・家事」、「人文・社会・自然科学」、55～64歳では「芸術・文化」、「家政・家事」、「パソコン等の情報処理」、65歳以上では「芸術・文化」、「家政・家事」、「人文・社会・自然科学」の順となっている。

注：「学習・研究」は、社会人の職場研修や児童・生徒・学生が学業（授業・予習・復習）として行うものは除き、クラブや部活動は含む。